

様式第5号の3（第9条及び第22条関係）

令和4年 6月 27日

佐賀県知事 山口 祥義 様

特定非営利活動法人 MATSRA
代表者氏名 理事長 川寄 和正
電話番号 0955-72-1458

事業報告書等提出書

下記に掲げる前事業年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第29条（同法第52条第1項（同法第62条において準用する場合を含む。）の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の規定により、提出します。

記

- 1 前事業年度の事業報告書
- 2 前事業年度の活動計算書
- 3 前事業年度の貸借対照表
- 4 前事業年度の財産目録
- 5 前事業年度の年間役員名簿
- 6 前事業年度の末日における社員のうち10人以上の者の氏名（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）及び住所又は居所を記載した書面

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

令和 3 年度 of 事業報告書

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 MATSRA

1 事業の成果

①国の海洋再生可能エネルギー実証フィールドの運営管理をはじめ科学技術の振興や農山漁村又は中山間地域の振興などの活動を通じ、公益の増進や地域社会の発展に寄与するため以下の活動を行った。

- ・国の海洋再生可能エネルギー実証フィールド（唐津市加部島沖）の運営管理。
- ・自然エネルギーを活用した農山漁村活性化プロジェクト
- ・外部委員活動

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費 の金額 (単位： 千円)
実証フィールドの運営管理等に関する事業	【活動実績】 ア 以下の運営管理を行った。 ・外部からの問い合わせ・訪問への対応 件数：238 件 (電話 49、メール 174、訪問 15) 相談者種別：事業者、漁協、市民等 ・気象・海象観測機器の管理 ・遠隔管理システムの運用管理	(A)4月～3月 (B)唐津市 (C)13名	(D)国内・外の事業者、研究、自治体等 (E)不特定多数	3,696

	<p>イ 情報の収集及び発信活動を行った。</p> <p><会議等への出席></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 佐賀県海洋再生可能エネルギー推進協議会 <p>日 時：令和3年4月22日</p> <p>場 所：唐津市</p> <p><情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ○パンフレット配布 ○ホームページによる活動情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー普及の必要性及び重要性を広く一般へ発信するため、国の脱炭素化の動きを踏まえ、ホームページにエネルギーに関する最新情報などを記載し、情報発信を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ○SNSによる情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・MATSRAの活動情報や地元の進捗状況、再生可能エネルギーに関する最新情報を細目に掲載し、情報発信を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ○新聞、雑誌等による情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋港利用促進協議会(名古屋港管理組合)が発行する雑誌「名古屋港」2021年9月号で「脱炭素の主役は海～海を侮ることなかれ～海洋再生可能エネルギーの取組み」と題し、MATSRAの活動を情報発信した。 <ul style="list-style-type: none"> ・西日本新聞社より、九州の洋上風力発電に奮闘する企業や自治体、 			
--	---	--	--	--

	<p>地域の姿を特集する連載記事の取材を受け、漁業との共存共栄を目指す MATSRA の取組みを紹介した。</p> <p>ウ 視察対応</p> <p>・佐賀市環境保健推進協議会（10月）</p>			
<p>その他、第3条の目的を達成するために必要な事業</p>	<p>自然エネルギーを活用した農山漁村活性化プロジェクト</p> <p><活動実績></p> <p>・唐津市沖で洋上風力発電実施計画を有す事業者のワンストップサポートセンターとして対応した。</p> <p>件数：238件（再掲）</p> <p>（電話 49、メール 174、訪問 15）</p> <p>相談者種別：事業者、漁協、市民等</p> <p>・海洋再生可能エネルギーの実証事業や漁業協調、事業化活動に無人機ドローンを活用するため、専門業者による座学・実技講習を受講した。</p> <p>講習後、ドローン実機2機購入し、スタッフのスキルUPを図った。</p> <p><ドローン2機概要></p> <p>機体名：DJI PHANTOM4 PRO Plus V2.0</p> <p>型番：D180508111</p> <p>寸法：350mm</p> <p>重量：1375g</p> <p>機体名：DJI Mini2</p> <p>型番：D220401410</p> <p>寸法：213mm</p> <p>重量：199g</p>	<p>(A)4月～3月</p> <p>(B)佐賀市 唐津市</p> <p>(C)14名</p>	<p>(D)国内の事業者、研究者、自治体等</p> <p>(E)不特定多数</p>	333

<p>購入元：(株)セキド</p> <p>・洋上風力産業競争力強化セミナー in 九州出席。</p> <p>日 時：令和3年9月27日</p> <p>場 所：オンライン開催</p> <p>参加者 平野アシスタントマネージャー</p> <p>主 催：九州経済産業局、九州環境 エネルギー産業推進機構</p> <p><情報発信> ホームページやSNSによる情報発信</p>			
<p>外部委員活動</p> <p>【活動実績】</p> <p>・佐賀県海洋再生可能エネルギー推進協議会（事務局：佐賀県）</p> <p>佐賀県が運営する有識者協議会の委員として、MATSRA スタッフが参画し、審議した。</p> <p>理事長 川崎 和正(会長)</p> <p>副理事長 木下 健</p> <p>理事 森 傳一、梅崎 博昭 梅津 武治</p> <p>開催日時：令和4年2月14日</p> <p>場 所：オンライン開催</p> <p>・唐津市地域エネルギー推進戦略会議（事務局：唐津市）</p> <p>唐津市が運営する戦略会議風力（洋上、陸上）・水力・太陽光・電気自動車分科会に MATSRA スタッフが委員と</p>	<p>(A)4月～3月</p> <p>(B)唐津市</p> <p>(C)9名</p>	<p>(D)国内の事業、研究者、自治体等</p> <p>(E)不特定多数</p>	<p>0</p>

	<p>して、出席し、審議した。</p> <p>マネージャー 松尾 剛勇 (戦略会議委員、分科会リーダー)</p> <p><分科会> 開催日時：令和3年11月9日 令和4年1月18日 場 所：唐津市</p> <p>※活動情報は、ホームページに公開</p>			
--	--	--	--	--

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類(活動計算書)」)

令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人MATSRA

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費			
賛助会員受取会費	0	0	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	333,000	333,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	0	0	
4. 事業収益			
実証フィールドの運営管理等に関する事業収益	4,512,200		
その他の収益	0	4,512,200	
5. その他収益			
受取利息	14		
雑収益	900	914	
経常収益計			4,846,114
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	1,870,800		
法定福利費	303,549		
人件費計	2,174,349		
(2) その他経費			
研究開発費	0		
会議費	1,603		
研修費	120,050		
旅費交通費	115,895		
通信費	377,701		
広告宣伝費	382,800		
租税公課			
賃借料	0		
車両費	322,539		
消耗品費	78,203		
事務用品費	392,253		
新聞図書費	51,575		
雑費	12,760		
その他経費計	1,855,379		
事業費計		4,029,728	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当			
法定福利費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
通信費			
交際費	182,440		
施設利用料	792,000		
租税公課	0		
水道光熱費			
外注費			
雑費	60,740		
その他経費計	1,035,180		
管理費計		1,035,180	
経常費用計			5,064,908
当期経常増減額			-218,794
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			-218,794
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			-289,794
前期繰越正味財産額			1,291,191
次期繰越正味財産額			1,001,397

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」)

令和3年度 貸借対照表
令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人MATSRA
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	841,391		
未収金	451,220		
流動資産合計		1,292,611	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具			
什器備品			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,292,611
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	220,214		
未払法人税等	71,000		
前受民間助成金			
預り金			
流動負債合計		291,214	
2. 固定負債			
長期借入金			
退職給付引当金			
固定負債合計		0	
負債合計			291,214
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,291,191	
当期正味財産増減額		-289,794	
正味財産合計			1,001,397
負債及び正味財産合計			1,292,611

(法第28条第1項「前事業年度の財産目録」)

令和3年度 財産目録
令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人MATSRA
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	841,391		
普通預金			
未収金			
委託料	451,220		
流動資産合計		1,292,611	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,292,611
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
給与	155,900		
法定福利費	24,860		
通信費	31,694		
事務用品費	0		
広告宣伝費	0		
租税公課	0		
車両費	0		
交際費	7,760		
未払法人税等	71,000		
預り金			
源泉所得税預り金	0		
流動負債合計		291,214	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			291,214
III 正味財産の部			
正味財産			1,001,397

(法第 28 条第 1 項関係)

前事業年度の年間役員名簿

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 3 1 日まで

特定非営利活動法人 MATSRA

役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就任期間	報酬を受けた 期間
理事長	川 寄 和 正		R3 年 4 月 1 日から R4 年 3 月 31 日まで	報酬なし
副理事長	木 下 健		同上	報酬なし
理 事	森 傳一		同上	報酬なし
理 事	梅 崎 博 昭		同上	報酬なし
理 事	坂 井 亨		同上	報酬なし
理 事	梅 津 武 治		同上	報酬なし
理 事	池 上 康 之		同上	報酬なし
監 事	角 田 智 彦		同上	報酬なし

(法第 28 条第 1 項関係)

前事業年度の社員のうち 10 人以上の者の名簿

令和 4 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 MATSRA

氏 名	住 所 又 は 居 所
川寄 和正	
森 傳一	
梅崎 博昭	
木下 健	
永田 修一	
坂井 亨	
角田 智彦	
池上 康之	
今井 康貴	
松尾 剛勇	

(備考)

- 1 前事業年度の末日現在における社員のうち 10 人以上の者の氏名及び住所又は居所を記載する。
- 2 10 人以上であれば社員全員を記載する必要はない。